

30TH

Anniversary

(公財)タカミヤ・マリバー
環境保護財団

財団設立30周年記念

— 講演テーマ

水循環からみる
化学物質と
生態系への影響
〜雨・川・海のつながり

第26回
未来の子どもたちに持続可能な環境を
タカミヤ・マリバー
環境保護シンポジウム

入場料
無料

とき

2023年

11月11日 土 9:30~12:00

ところ

北九州市立
商工貿易会館 2F大ホール



東京大学大学院
新領域創成科学研究科教授

山室 真澄

Yamamuro Masumi

1984年 東京大学理学部地理学教室卒業
1991年 東京大学理学系研究科
地理学専門課程博士課程修了(理学博士)
1991年 通商産業省工業技術院地質調査所
2001年 産業技術総合研究所
海洋資源環境研究部門主任研究員
2007年 現職

Profile

1960年名古屋生まれ。幼少期から水辺に親しみ、高校2年生で米国の高校に編入。帰国後、東京大学・文科三類に入学。理学部地理学教室に進学し、学生時代の卒業研究から学位論文まで宍道湖の生きものをテーマに研究。その後も一貫して同湖の研究を続け、2019年『Science』誌にて論文「Neonicotinoids disrupt aquatic food webs and decrease fishery yields」を発表する。東京大学大学院新領域創成科学研究科教授。専門分野は陸水学・沿岸海洋学・生物地球化学。2020年の大阪フィッシングショーで、(公財)日本釣振興会環境支部主催の講演会に登壇するなど、得られた知見の普及にも取り組んでいる。